

# 機能性表示でその商品に「+α」の付加価値を

## 迷ったら、機能性表示食品開発相談窓口へ

機能性表示食品は、特定保健用食品いわゆるトクホと混同されがちです。トクホは国の審査が伴うのに対して、機能性表示食品は事業者が自らの責任で科学的根拠を基に消費者庁長官に届け出し、適正な表示を行う必要があります。「機能性表示食品制度」を正しく理解し、届出・適正表示ができるよう、相談窓口を活用しましょう。

福岡バイオコミュニティの機能性表示食品開発相談窓口の柿野 賢一さんに話を聞きました。

### 機能性表示食品制度を活用するメリットはなんですか？

これまで自由に記載できなかった機能を自社商品に記載できるようになることで、付加価値の向上に繋がります。実際に、県内の通販会社がいち早く制度を活用し機能について広告できるようになったことで、届け出していない会社や商品との差別化、そして増収に繋がったという事例もあります。

### 届け出にあたって気を付けるポイントがありますか？

制度上のルールに則っていないといつまでも差し戻され、時間も費用も掛かってしまいます。消費者庁のホームページなどにも要件や通知などは公表されていますが、初めてチャレンジする企業の方にとっては、相当ストレスがかかると思います。まずは、当相談窓口を活用してみてください。これまでも様々な企業の届け出支援に携わっており、現場のニーズに沿った支援を行うことができます。

問 福岡バイオコミュニティ推進会議事務局（株久留米リサーチ・パーク内）  
☎ 0942-37-6124 📠 0942-37-6367 ✉ fbv@kurume-rp.co.jp

### どんな方に活用していただきたいですか？

機能性表示食品のことは聞いて興味はあったが、なんとなく難しそうなのではないかと様子見していた、あるいは何らかの方法で自社商品に対して機能に関する付加価値を付けたいが良いアイデアが浮かばなかった、などの悩みがある方には是非活用してもらいたいですね。お気軽にご相談ください！

### 機能性表示食品開発相談窓口（原則オンライン相談）

専門家の個別アドバイスを受けられます。2回目までは相談料無料です。福岡バイオコミュニティのホームページから相談申込書をダウンロードして、メールで送付してください。



福岡バイオコミュニティプロジェクト  
アドバイザー 柿野 賢一さん



# 充実した福利厚生サービスで魅力ある職場づくり

## KSC 加入で、実現が難しい福利厚生事業を導入できます

民間就職支援会社が実施した、20～60代の男女1,000人を対象とした勤務先選びにおいて重視した点などに関する調査では、勤務先選びで「福利厚生を重視した」と回答した人が全体の51.6%と半数を超え、20代では67.0%にも上ります。充実した福利厚生制度は、採用活動の重要なポイントであり、福利厚生制度の充実が人材の定着にもつながります。

### 加入のメリット

- 1 少ない負担で充実したサービス  
結婚や出産の祝金、見舞金などの慶弔給付や、温泉やレジャー施設などの費用の助成など充実したサービスを提供します。  
(例：プロスポーツを特別料金で観戦可能、ホテル・書簡の宿泊費の一部助成など)
- 2 企業の採用戦略の1つに  
企業の魅力の1つとしてアピールすることができ、人材の確保に役立ちます。
- 3 実は経費の節約にも  
自社で整備するよりも費用を節約して、福利厚生事業を実現できます。

問 公益社団法人久留米広域勤労者福祉サービスセンター  
☎ 0942-39-7811 📠 0942-39-7816 ✉ kurumesc@arion.ocn.ne.jp

### 加入企業へのアンケート調査結果

※加入者1,244人のアンケート調査結果（令和5年度）

#### ●KSCに加入した理由

- ・サービスが充実しているから 196人(15.8%)
- ・会費が安いから 25人(2.0%)

#### ●サービス満足度

- ・大変満足 255人(20.5%) ・ 満足 706人(56.8%)
- ・どちらでもない 150人(12.1%)
- ・少し不満 124人(10.0%) ・ 不満 9人(0.7%)

### 加入者の声

「地元のお店が対象なので利用しやすい。」  
「パン・ランチフェアなどの情報を楽しみにしている。」

